

経営会議・会議録概要

I. 日 時 令和7年2月17日（月） 午前9時00分～9時20分

II. 場 所 委員会室

III. 出席者 経営会議構成員、

政策推進部総括次長兼行政サービス向上室課長、

政策推進部戦略企画課長、戦略企画課上席主査、

福祉・子ども部総括次長兼こども家庭室長兼課長、

教育総務部次長兼教育総務課長、教育企画室課長

IV. 案 件

1 諸福幼稚園及び南郷保育所の今後のあり方について

2 その他

V. 内 容

【副市長】

- ・ 経営会議を開催する。
- ・ 本日の案件は、「諸福幼稚園及び南郷保育所の今後のあり方について」である。
- ・ はじめに市長よりご挨拶を頂戴する。

【市長】

- ・ 急遽の経営会議の開催となったが、ご対応いただき感謝申し上げます。
- ・ 本日の案件は、諸福幼稚園及び南郷保育所の今後のあり方についてである。これまで教育委員会とこども家庭室で話し合いを進めていただいていた。
- ・ 国が子育て応援を行い、共働き世帯が増加する一方で、少子化への対応や、公共施設のあり方についても考えていかなければならない。今回はその第一歩目の検討となる。
- ・ 忌憚なきご意見をいただきたいので、よろしくお願いします。

1 「諸福幼稚園及び南郷保育所の今後のあり方について」について

【副市長】

- それでは、「諸福幼稚園及び南郷保育所の今後のあり方について」、福祉・子ども部から説明をお願いします。

【福祉・子ども部長】

- 現在、諸福幼稚園では園児数が減少している一方で、共働き、女性の活躍等もあり、就学前の保育を必要とする人数が増加の傾向にある。
- こうした状況を踏まえて、諸福幼稚園と南郷保育所の今後のあり方についてを議題とさせていただいている。
- それでは、担当から詳細についてご説明させていただく。

【福祉・子ども部総括次長兼こども家庭室長兼課長】

《配布資料に沿って説明》

【副市長】

- ただいまの説明で何か質問等はあるか。

【保健医療部長】

- 諸福幼稚園の園児が減少していることは認識しているが、支援が必要な子どもの受け皿が必要である。こども園に移行した際に、そのあたりの支援について問題はないか。

【福祉・子ども部総括次長兼こども家庭室長兼課長】

- 現在、諸福幼稚園及び南郷保育所では支援の必要な子どもの対応を行っているため、今後についても同様の支援を継続していく。

【市民生活部長】

- 諸福幼稚園の跡地については一切触れられていないが、方針や考え方があれば、教えていただきたい。
- また、地元や関係者への説明した際の反応等があれば教えていただきたい。

【教育企画室課長】

- 諸福幼稚園の跡地については教育委員会の所管ではなくなるが、資産経営課と調整をしながら、今後の方向性を検討していきたい。
- 地域への説明については、東諸福、西諸福、新田、南郷の各区長にさせていただき、「幼稚園がなくなるのは寂しいことではあるが、やむを得ない」というご意見をいただいた。
- また、「諸福児童センターのようにしばらく活用されない施設にならないようにしていただきたい」というご意見もいただいた。

【市民生活部長】

- 跡地活用については、議員からもよくご質問やご意見をいただく内容となっているため、地元に対しても跡地をどうするかを説明できた方がスムーズに進むのではないかと考える。

【副市長】

- 今いただいた意見については、教育委員会と資産経営課で調整しながら進めていきたい。
- 他に意見はないか。
- なければ、これにて経営会議を閉会する。

(以上)